

高岡智照 たかおか ちしょう 隨筆家、俳人。明治二十九年四月、二十一日奈良良縣生
 れ、(平成六年十月)二十一日歿(八五—一九九四)。本名六郎。別名八千葉、
 冬野屋女、千代葉、小田照葉、橋本六郎、橋本智照、照葉、照葉女、
 高岡辰子、高岡照葉。明治四十一年大阪南地宗右衛門町の加賀屋のら
 千代葉の名で舞妓の出る。大正元年東京新橋の舞籍を照葉と改名。四
 年妓籍を去り、七年妹三仲貫人と結婚。十二年離婚して惣里の隠棲。
 昭和九年出家得度し智照と改名、十一年嵯峨大徳寺頭塔中祇王寺に入
 庵。俳句は昭和四年より雑誌『ホトトギス』に載る。

著書に、『照葉懺悔』(昭和二年一月)『千白露入社書局』、『照葉
 懺悔』(昭和九年十一月五日中央公論社)、『尼生活』(昭和十五年
 四月)『千白實業舎』、『祇王寺日記』(昭和四十八年二月十六日講談
 社)、『ゆめ草日記』(平成四年四月二十一日永田書房)等。

